

募 集 人 員 | 一般市民・大学生・高校生 30名

募 集 期 間 | 平成27年5月7日(木)～5月27日(水)

受 講 料 | 2,000円(大学生・高校生は無料)

お申し込み方法 | 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先 | 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL: 023-628-4203 E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会 場 案 内 | 山形大学人文学部1号館3階 301講義室
※6月8日(月)のみ、人文学部1号館2階 情報処理実習室にて開講します。
大学正門を入れて正面の建物です。受付は人文学部玄関にて行います。

そ の 他 | 【公共交通機関ご利用のお願い】
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。

シャトルバス運行時刻表

<http://www.yamagata-u.ac.jp/pdf/ekijikoku.pdf> 参照

なお、山形駅行きの最終便は18:40発となっております。
また、山交バス県庁前→山形駅前行きの最終便は、南高前バス停19:42発、山形～仙台間高速・都市間バス山形駅着の最終便は、南校前バス停23:24発です。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



平成27年度山形大学公開講座 [人文学部]



平成27年度 山形大学公開講座 [人文学部]

世界遺産 ナスカの地上絵

学際的アプローチの成果と展開

平成27年 **6月1日**[月]～**6月15日**[月]

講義時間/毎回 午後6時30分～8時10分 [月・木曜日 計5回]

[場 所] 山形大学人文学部1号館3階 301講義室

※6月8日(月)のみ、人文学部1号館2階 情報処理実習室にて開講します。

[対 象] 一般市民・大学生・高校生 定員30名

[受 講 料] 一般 2,000円

[募集期間] 平成27年5月7日(木)～5月27日(水)

大学生
高校生
無料

〈お問い合わせ先〉

山形大学小白川キャンパス事務部人文学部事務室

電話: 023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第1回 **6/1**[月] ナスカ研究の現状と今後の展望
人文学部助教 山本 睦

第2回 **6/4**[木] 認知心理学から考えるナスカの地上絵
人文学部教授 渡邊 洋一

第3回 **6/8**[月] 情報科学からナスカの地上絵を考える
～体験学習を通して～
人文学部教授 本多 薫
人文学部学術研究員 門間 政亮

第4回 **6/11**[木] ナスカ川と馬見ヶ崎川
山形大学名誉教授 阿子島 功

第5回 **6/15**[月] 地上絵を作ったのはどんな人々だったのか
～遺跡の分布から見るナスカ社会～
人文学部准教授 松本 雄一

世界遺産 ナスカの地上絵

学際的アプローチの
成果と展開

講座の概要

山形大学人文学部では、平成16年度からユネスコの世界遺産に登録されているナスカの地上絵に関する共同研究を実施しています。文化人類学、認知心理学、情報科学、地理学、考古学などの様々な分野の専門家が協力して、学際的な研究を実施しています。平成24年にはペルー共和国ナスカ市に人文学部附属ナスカ研究所を設立して、ナスカ研究に関する国際的な研究拠点を形成しつつあります。

この講座では、こうした学際的な研究の成果を、それぞれの研究者が自らの体験や分析結果にもとづいて、分かりやすい言葉で語ります。最先端の学術成果に触れ、ナスカの地上絵がどのように解明されつつあるのかを示します。

なお、今回の講座では、ナスカ研究以外で、それぞれの研究者が実施してきた研究内容についても紹介していただき、その経験がナスカ研究にどのように役立っているのかについて積極的に話していただきます。それによって、この学際的な研究の広がりや奥行きを理解していただきたいと思います。

第1回目

6/1
[月]

ナスカ研究の現状と今後の展望

人文学部 助教 **山本 睦**

山形大学人文学部では、平成16年度からナスカの地上絵に関する学際的な研究を継続的に実施してきました。本講座では、まずわれわれのプロジェクトの全体像を示したうえで、これまでの研究成果と今後の展望について、とくに考古学的見地からお話ししていきたいと思ひます。また、現在おこなっている調査に加えて、現地での生活の様子についても紹介いたします。最後に、これまでにわたし自身がおこなってきた他地域での考古学調査についても簡単にふれ、それらが今後の調査や研究にどう寄与していくのかという点を示したいと思ひます。

第2回目

6/4
[木]

認知心理学から考えるナスカの地上絵

人文学部 教授 **渡邊 洋一**

認知心理学は、人間が自分の周囲をどのようにとらえるのかを研究する学問です。そのときに、刺激を受けるだけの単なる観客ではなく、問題を解決するために能動的に考え行動するのが人間の特性であるという観点が非常に重要です。この講座では、そのような観点から、(1) 人が行動する空間としてのナスカ台地と (2) 同じ地上に立って観察する地上絵というふたつの問題をとりあげて認知心理学的考え方を紹介します。

第3回目

6/8
[月]

情報科学からナスカの地上絵を考える ～体験学習を通して～

人文学部 教授 **本多 薫**／人文学部学術研究員 **門間 政亮**

地上絵が描かれているナスカ台地は、220km（東西20km・南北15km）に及び広大な土地です。この台地に動物、植物、幾何学図形、直線など1000個以上の地上絵が点在していますが、情報科学の視点から地上絵の分布や位置関係等を分析するのに便利な道具が人工衛星の写真です。本講座では、人工衛星の写真を見ながら、地上絵を探したり、どのような場所に描かれているのかなどを確認します。また、代表的な地上絵を実際に描いてみます。このような体験学習を通して、ナスカの地上絵について考えてみたいと思ひます。

ナスカ川と馬見ヶ崎川

山形大学名誉教授 **阿子島 功**

極乾燥の海岸沙漠のナスカ盆地で千年間も生活が成りたったのはなぜか。それは遠くないアンデス山脈に季節的に降る雨が海岸まで流れてくるためであるが、粗い砂礫層からなるナスカ川の氾濫原では水は浸透して伏流してしまう。そのためプキオ・システムという地下水を利用する独特の水利施設によって農業が営まれたらしい。山形、米沢、東根の扇状地の近世～近代の水・土地利用、モンゴル・中国西部の乾燥地農法と比べながら、ペルー南部海岸の水利用や1万年前以降の古気候変化を復元するためにどのような調査を行ってきたかを紹介したい。

第4回目

6/11
[木]

地上絵を作ったのはどんな人々だったのか ～遺跡の分布から見るナスカ社会～

人文学部 准教授 **松本 雄一**

ナスカの地上絵を作った人々は、どこに住んで、どんな生活をしていたのでしょうか。なかなかイメージがわからないのではないかと思います。地道な考古学調査によって、地上絵が描かれているナスカ台地のすぐ北側に位置するインヘニオ谷には2000年に渡る彼らの生活の痕跡が密集していることが分かりました。生活といっても住居だけではなく、お墓、儀礼場、地上絵、そして何のために作られたのかさっぱりわからない建築など様々です。本講座ではこのような遺跡の分布を分析することで、地上絵を作り、使った人々の実態に迫りたいと思ひます。

第5回目

6/15
[月]

02	払 込 取 扱 票										通常払込料金 加入者負担		
口座記号番号												金 額	千 百 十 万 千 百 十 円
0 2 2 6 0 - 7												9 2 4 7 8	2 0 0 0
加入者名 国立大学法人山形大学												料 金	備 考
*「世界遺産ナスカの地上絵～学際的アプローチの成果と展開～」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー 様のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)													
おとこ (郵便番号 -)												日 附 印	
* おなまえ (電話番号 -)													
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙8982号)												これより下部には何も記入しないでください。	

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0 2 2 6 0 - 7										通常払込 料金加入 者 負担
加入者名	国立大学法人山形大学										
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	2 0 0 0									
おなまえ	様										
ご依頼人	様										
料 金	日 附 印										
備 考											

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないで出してください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。
いっから切り離してお出ください。